

農学研究科の教育課程編成・実施の方針

教育目的

佐賀大学大学院農学研究科の教育目的は、科学技術が高度化・多様化・国際化する時代の中で、社会のニーズに応えられる人材、すなわち確固たる専門基礎知識に裏付けられた正しい価値観を基盤とし、冷静かつ柔軟な判断力・行動力を兼ね備えた創造性豊かな専門職業人になるべき人材を育成することである。

農学研究科唯一の専攻である生物資源科学専攻において育成する人材は、第1に、高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において能力を発揮できる専門職業人であり、第2に、生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧科学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を発揮できる高度な専門職業人であり、第3に、高度な農業技術と経営管理能力を有し、中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・団体・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる高度な専門職業人である。

教育課程の編成・実施

以上のような農学研究科の教育目的を達成するために、本農学研究科には、生物資源科学専攻の1専攻を置き、その中に5つの主コース（応用生物科学コース・生物環境保全学コース・資源循環生産学コース・生命機能科学コース・地域社会開発学コース）と1つの副コース（農業技術経営管理学コース）を設置する。

また、1単位制講義を基本とするサブ・セメスター制度を導入し、柔軟なクロス履修による専門横断的な知識の修得を可能とする教育課程を編成する。専攻共通科目として農学総合講義2単位を必修とし、基礎教育科目5科目（各1単位）から2単位を選択必修とすることにより、農学における基礎的で広い知識も修得できるように配慮する。

さらに、それぞれの主コースには教育研究分野を配置し、すべての学生はいずれかの教育研究分野に所属し、指導教員の指導のもとで特別研究(必修)を履修する体制を整える。

農学研究科の学位授与の方針

佐賀大学大学院農学研究科の教育目的に沿った知識・技能を修得し、以下に示した学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を学位授与の方針とする。

この方針に従って教育課程を編成・実施し、佐賀大学大学院農学研究科履修細則に定められた所定の単位を修め、修士論文審査に合格した者に対して修士（農学）の学位を授与する。

1. 高い倫理意識と国際性豊かな教養を有し、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を活かして、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる力を身につけている。
2. 生物資源の開発と制御、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧科学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、先端的・応用的・実用的な能力を身につけている。
3. 中北部九州及びアジアの諸地域における地域農業組織・企業・団体・行政・研究所等の職場で、実行力をもって活躍できる力を身につけている。

農学研究科（修士課程）入学者受入の方針

＜農学研究科が求める学生像＞

農学研究科は、生物資源科学専攻の中に農学を基盤とした人類の生存に必要な食料、環境、資源・エネルギー、経済・社会・文化、生命などに関わる5つの教育研究コースを擁しています。本研究科は、科学技術の高度化・国際化を踏まえつつ、各コースにおける学習と研究を通じて当該専門分野における専門職業人又は研究者としての知識・技能を高め、リーダーとして社会に貢献する人材の育成を行っています。そのために、本研究科への入学を志望する人には、以下のような資質とそれを支える基礎学力が求められます。

- 1 専門分野における基礎知識を持ち、かつ明確な問題意識を持つ人
- 2 研究課題に取り組む旺盛な意欲と研究を貫徹する実行力のある人
- 3 語学力ならびに高いコミュニケーション能力を有する人
- 4 本研究科での研究を通じて社会に貢献しようという意識の高い人

さらに、本研究科では、修士課程修了後に、農学系大学院博士後期課程に進学して、農学関連の研究者や専門技術者を目指す人材をも求めています。

＜コースの求める学生像＞

1 応用生物科学コース

有用な動植物の育種開発ならびに生物制御機構の解明と応用を中心としたバイオサイエンスに関する知識の修得と研究を志す人

2 生物環境保全学コース

環境負荷の少ない生物生産環境の創出と保全ならびに地球レベルから地域までの幅広い保全と創造に関する知識の修得と研究を志す人

3 資源循環生産学コース

資源循環型の生物生産システムの構築ならびに環境に配慮した農産・加工とバイオエネルギー開発に関する知識の修得と研究を志す人

4 生命機能科学コース

生命現象と遺伝機能の化学的解明ならびに生物の機能性を利活用した食品の製造・貯蔵などライフサイエンスとフードケミストリーに関する知識の修得と研究を志す人

5 地域社会開発学コース

農林水産に関する政策・流通経済・経営管理システム，農村の社会構造と集落維持システムならびに産業・地域開発に伴う環境問題と健康問題に関する知識の修得と研究を志す人

<入学者選抜の基本方針>

1 一般入試

農学研究科が求める学生像に相応しい学生を選抜するために，外国語（英語）能力と専門分野の知識を問う筆記試験ならびに口頭試問を含む面接試験を実施します。

外国語（英語）試験は，農学研究科の共通問題が課されます。試験問題には，農学・生物科学・環境科学分野における基礎的な題材を取り上げ，筆答による英語の読解力と作文力をみます。

専門試験は，各コースの専門試験として受験者個別に課され，当該コースでの学習・研究に必要な専門的知識の修得程度をみます。応用生物学コース，生物環境保全学コース，資源循環生産学コース及び地域社会開発学コースは，受験者の志望する教育研究分野の専門試験を出題します。生命機能科学コースは，受験者の志望する教育研究分野の専門試験に加えて，当該コースの共通問題も出題します。

2 社会人特別入試

農学研究科は，大学卒業後に社会における専門分野の職業経験を持つ者を受入れて，再教育ならびに高度な研究の推進を通じて社会への貢献を目指しています。したがって，社会人特別入試の受験者は，口頭試問及び面接によって専門分野における基礎知識・研究課題ならびに入学後の修学条件等が問われます。

3 外国人留学生特別入試

農学研究科は，設置趣旨に沿い，世界に開かれています。したがって，外国人留学生特別入試の受験者は，口頭試問及び面接によって専門分野における基礎知識，コミュニケーション能力ならびに研究課題等が問われます。